

## 議事 1 令和 2 年度事業報告

## 1 柏市学校警察連絡協議会生活実態調査について

柏市少年補導センターが事務局を務める学校警察連絡協議会が実施した「生活実態調査」から得られた結果を報告します。

## (1) 携帯電話・スマートフォン所持率について（別紙 1 - 2, P 4 ~ 7）

小学生，中学生，高校生ともスマートフォン所持率は高く推移しています。小学生のスマートフォン所持率は平成 30 年度の 42% から 50% 台を推移しており，中学生は同年 77% から 84% に上昇，高校生においては 90% を超えた状態が継続しています。

## (2) 携帯電話・スマートフォン所有開始時期（別紙 1 - 2, P 8 ~ 10）

携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒を対象に持ち始めた時期を調べたところ，中学校入学前後，高校進学等の時期に所有者が増加する傾向が伺えます。子どもたちがスマートフォンを持つ前に情報モラルを確認させる必要性が感じられます。

## (3) オンラインゲームの利用状況（別紙 1 - 2, P 11 ~ 14）

インターネットでは様々なサービスが提供されていますが，オンラインゲームの利用状況を調査しました。小学生から高校生まで，6割前後の利用率で，1日4時間以上利用する者の割合は小中学生の方が高校生より高く，課金して利用する者は小中学生より高校生の方が高い結果となりました。

## (4) 会ったことのない人と LINE で親しくなった経験（別紙 1 - 2, P 15 ~ 17）

SNS として利用率の高い LINE について，会ったことのない人と親しくなったことがあると答えた者は，小学生が 9% に微増，中学生が 13% でほぼ横ばい，高校生は 12% で減少傾向がみられます。

## (5) LINE で知り合った人と実際に会った経験（別紙 1 - 2, P 18 ~ 20）

LINE を利用している小学生の 1割強が，LINE で知り合った人と実際に会ったことがあると答えています。また，そのうち会った相手が 20歳以上と答えた割合が 17% ，会ったことを保護者に知らせていない割合が 46% となっています。

SNS で知り合った人と実際に会ってしまう子が少なくないうえに，そのことを保護者が知らない状況が伺えます。

## 2 令和2年度活動結果について

柏市少年補導センターが実施した、補導活動、相談活動、啓発活動及びサイバーパトロールについて、次の事項を報告します。

### (1) 補導活動について（別紙1-2，P23～25）

令和2年度の補導少年総数は327名で、平成28年度246名、平成29年度271名、平成30年度239名で、令和元年度315件となっており、2年連続で300件台となりました。

不良行為としては怠学が多く、平成30年度165件、令和元年度229件、令和2年度284件となっており、主に高校生の件数が増加傾向にあります。

喫煙の総数は、平成30年度31件、令和元年度18件、令和2年度6件と減少しています。特に中学生の喫煙が平成30年度1件、令和元年度1件であったものが、令和2年度は0件となりました。

特定の場所が子どもたちのたまり場になる様子はなく、特に夜間補導においては、子ども達の姿を見かける機会が少なくなっています。

### (2) 相談活動について（別紙1-2，P27）

少年相談が前年度より41件減少して126件、いじめeメール相談が4件減少して1件、やまびこ電話柏相談が103件減少して263件、S T O P i t相談が8件減少して125件となっています。

相談内容は多岐にわたり、状況に応じて関係機関と連携して解決を図りました。

### (3) 啓発講演について（別紙1-2，P28）

情報モラル教育や薬物乱用防止等の内容を中心に、53回実施しました。

### (4) サイバーパトロールについて（別紙1-2，P29）

サイバーパトロールでは、不適切な書込み・画像の投稿が10件確認されたため、学校等に連絡し、改善を図りました。

注意を要する書き込み等は、平成29年度67件から平成30年度8件に大幅に減少したのち、令和元年度5件、令和2年度10件と低く推移しています。